



白銀

200名の会員、100名のメイト読者を目指そう！

新日本スポーツ連盟神奈川県スキー協議会
横浜市神奈川区神奈川2-14-16トリックビル3F
Tel045-534-5557 Fax045-534-5554

発行責任者: 杉田 厚

編集: 北村 理・古屋 仁・吉越 貴幸・今井 泰雄

Email: mail@kanagawaski.org

URL: https://kanagawaski.org

存分に滑り込んだ！？ スノーブリーズ。

戸狩温泉スキー

スノーブリーズ SC 杉田 厚

2月14日(金)夜から16日(日)の日程で戸狩温泉スキーに行ってきました。

参加は新会員1名を含む6名でした。

さて、今回は車が1台で足りず杉っちカーが遥々首都圏まで出張、ピックアップして全員集合となりました。で、23時30分には戸狩温泉四季彩の湯「かのえ」に到着し乾杯。

2時半ころまで新人Uさんと自己紹介しあいながらお酒を酌み交わしました。

今回3種の日本酒が集まり、豪華なおつまみ付きでついつい飲みすぎました。

初日の15日(土)は朝から晴天。

上に上がれば景色も最高の中滑りほぼ全てのコースを制覇しました。



ところがお昼近くなると始まったのです、あのストップ雪が。

4月のかぐら、5月の野沢でもないのに、2月にストップ雪が現れるとは。

これも温暖化の影響なんでしょうか、それとも楽しそうに滑るのに太陽が焼き餅を焼いた？

ということで、午前中でスキーはほぼ終わり。

ランプ食堂では昼から約2名が宴会に突入。新入会員の前で醜態をさらしてしまった。

でも、久しぶり参加のMさんとDさんはストップ雪の中ブイブイ滑っていたように記憶しています(飲みが入って記憶があやふや)。

午後には雪も締まって割と滑りやすかったそうです。

宿「かのえ」は温泉もよし、食事もよしの満足の宿でした。

温泉はちょっととろみのあるお湯で浴槽も広く深くゆったりと疲れました。

食事はワインで乾杯し鍋でした。

※ストップ雪：春先 雪の表面に木くず や 風で飛んできた砂・黄砂・花粉が混じり、茶色くなった雪をよく見ます。
この茶色くなった雪の上をすべると「急に板が走らなくなる」ことや「いきなり止まりそうになる」
ことがあります、これが「ストップ雪」です。

16 日(日)は、半日 目いっぱい滑りに。

途中とん平クワッドリフト乗り場で上の斜面の雪崩に遭遇し若干の足止めなんてこともあったけれどみなさん無事に降りてきました。

そういえばマテリアルの話です。

Yさんはウエアが変わりました。



Uさんは先輩から譲り受けた板のソールが白くなっていて履くのを諦め、杉っちの持って行った板で2日間過ごしましたが少し長いので来月に向けて新しい板を調達するか思案することに。

Dさんは新しいウエアが欲しいと唸っていました。

で、帰りはIさんカーに5人がぎゅうぎゅうに乗り込んで帰途につきました。

お疲れさまでした。

～．

丸沼高原スキー

エルベSC 木村 泰造

参加者：チエちゃん、スーちゃん、ユウちゃん、サラ、タカちゃん、曾長、元帥、加藤さん、潔君、私木村の10名で行ってまいりました。

去年に一緒に行こうぜって誘われ、参加表明をしたのですが、出発日が近づくに伴い正直言って大阪から群馬まで行くのは少々気が重くなりキャンセルしようかなとも思いましたが、暇を持て余しているので行く事にしました。

丸沼高原スキー場は多分37年ぶり、昔はゴンドラなんかは無かったし330も新館は初めて。

スキー場は朝から雲一つない快晴、しかも、春スキーの様な陽気で最高のコンディション、ゴンドラで頂上に行き白根山をバックに皆で撮った写真はいい記念になりました。

貴ちゃんと話していたのですが、僕と滑るのは今回が初めてのようです。

そして、大きい声では言えないのですが、元帥が3回もコケて、しかも、お腹が邪魔して起き上がれないです。

最初はウケ狙いでジタバタしているのかと思っていたら、なんとマジでした。



リフト代も 6,000 円近くが普通(シニアでも 5,000 円前後)、家族 4 人(大人 2 人・小学生 2 人)で行くと万札に羽が生えたように飛んでいきます。

当面の行事

ク ラ ブ	行事名称	日 程	会場(スキー場)
県スキー協	初級指導員検定会	3月1日～2日	戸狩温泉スキー場
悠遊SC	スキーまつり (30周年記念)	3月2日～ 4日	星野リゾートネコママウンテン
スノードルフィン	妙高池の平スキー	3月7日夜～9日	池の平温泉アルペンブリックススキー場
DSSC	クラブ平日スキー	3月9日～11日	軽井沢プリンススキー場
モルゲンロート	モルゲンスキー	3月15日～16日	妙高高原スキー場
スノーブリーズ	クラブスキー	3月15日～17日	蔵王温泉スキー場
全国スキー協	第24回デモ選	3月15日～16日	志賀高原スキー場
県スキー協	第50回春スキー祭典	3月28日～30日	志賀高原 一ノ瀬スキー場他
全国スキー協	全国技術部会	4月12日～13日	志賀高原スキー場
モルゲンロート	モルゲン春スキー	4月19日～20日	かぐらスキー場
スノーブリーズ	クラブスキー	4月19日～20日	かぐらスキー場
スノーブリーズ	ぽかぽかキャンプ	5月3日～5日	野沢温泉スキー場
DSSC	クラブ春スキー	5月連休 (未定)	横手山スキー場

※各スキー行事に変更が生じた場合は、変更箇所をスキー協(mail@kanagawaski.org)へメールにて報告をお願いします。

◆編集後記◆

二月二三日の午後、「佐久スキーガーデン北パラダ」でスキーをしていた9歳の女子小学生と、後ろから滑って来たスキーヤーが衝突しました。

この事故で、女子小学生は、左足のすねを折る大けがをしましたが、衝突したスキーヤーはその場から立ち去ったということです。

スキー中の衝突事故の責任は、基本的に「上方からの滑走者（衝突した人）」にあるとされ、下方滑走者が後方を注意する義務は原則とされていませ
ん。スキーやスノーボードをするとき
には、他人にぶつからないように避け
て滑らなければならないということ
です。

全国スキー安全対策協議会（ス安対）でも十のルールを公表しています。

万一事故が起きた場合には、スキーヤー、スノーボーダー、そしてその場に居合わせた全ての人は、責任の有る無しにかかわらず、必ず氏名と連絡先を交換しましょう。